



学校教育目標

「ふるさと 夕張に誇りを持ち
明日を創造する生徒の育成」

発行責任者 校長 藤田祐二 編集責任者 教頭 酒井 誠

☎ 59-7340 / FAX 59-7173

学校評価の結果をお知らせします

3月の声を聞けば、雪の多かったこの冬も終わりに近づくものと期待していましたが、高校入試の日程が変更となるほど天候が荒れた1週目前半でした。重たい雪の除雪に携わった皆様、大変お疲れさまでした。

さて、今回の学校だよりでは、学校評価の結果をお知らせします。本年度は、①アンケートの回答結果を分析し、②学校としての「自己評価」を行うとともに、③学校評価委員が学校の自己評価結果を評価する「学校関係者評価」を実施し、④その結果を公表する、という手順で進めてまいりました。

今回お知らせする内容につきましては、学校関係者評価結果とアンケート分析結果です。それぞれの見方は次のとおりです。

1 学校関係者評価結果（3ページ分）

- 学習指導、生徒指導、学校生活全般のまとめりにシートを作成しています。
- アンケート結果については、生徒、保護者、教職員の回答状況を比較しやすくするため、各項目の平均値を算出して示しています。
- 学校の自己評価については、記述と3段階（ABC）で評価しています。
- 学校関係者評価については、評価委員が評価結果の妥当性等を3段階（ABC）で評価するとともに、評価理由及び改善意見を付しています。

2 アンケート分析結果（4ページ分）

- 項目ごとに生徒、保護者、教職員の回答状況をグラフで示し、その分析と今後の対応をグラフ横の囲みに記載しています。
- 記述の回答については、主な意見・要望と今後の対応を項目10の後に掲載しています。

今後とも、学校からの情報発信を積極的に行うとともに、保護者の皆様や地域の方々のご意見等が学校に届きやすい体制を整えるなど、家庭や地域と一体となった教育の一層の充実に努めてまいりますので、引き続き、ご理解・ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

令和2年度 学校関係者評価「評価シート」【学習指導】

夕張市立夕張中学校

1 アンケートの結果

A…よくあてはまる(4点) B…おおむねあてはまる(3点) C…あまりあてはまらない(2点) D…全くあてはまらない(1点)

No.	評価項目	生徒	保護者	教職員
1	教職員はわかりやすく工夫した授業をしている。	3.4	2.9	3.4
2	教職員は生徒一人一人の学習状況を考えて、丁寧に教えている。	3.4	2.8	3.6
3	教職員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしている。	3.4	3.0	3.4

2 アンケート結果の分析考察

「教職員はわかりやすく工夫した授業をしている」については、生徒・教職員と保護者の間に0.5ポイントの差がある。「教職員は生徒一人一人の学習状況を考えて、丁寧に教えている。」については、生徒と保護者の間に0.6ポイントの差がある。「教職員は生徒が自分で課題を解決したり、意見を発表したりする授業をしている。」については、三者3.0以上を超えている。生徒と教職員の見解はほぼ一致しているが、保護者との回答に0.4ポイントの差があり、保護者がより高い目標の達成を求めていると考えられる。

3 学校の自己評価

- 「家庭学習の手引き」を作成・活用し、家庭学習を毎日提出するように指導した。また、家庭学習をする教科の勉強道具だけを持ち帰らせることで、自発的に学習に向かう意識を高めることができた。
- 組織的な教職員研修を通して授業改善に取り組んできたが、各種学力調査の結果から、確かな学力の定着に成果が表れていない状況であり、学習指導のより一層の充実に努める必要がある。

B

4 学校関係者評価 【A：妥当 B：概ね妥当 C：改善を要する】

(1) 学校の自己評価に対する評価

自己評価結果の妥当性		取組の適切さ	
A		A	
B	○	B	○
C		C	

(2) 評価理由と改善意見等

学校では、授業改善や家庭学習の充実、学習に向かう意識づくり等に取り組んでおり、このことについては、アンケートにおいて生徒及び教職員がほぼ同様の受け止めをしている。一方で、学力の定着に依然として課題が見られることから、自己評価の妥当性はB、取組の適切さはBとした。

学習指導の改善に向けては、生徒数が少ない利点を生かし、丁寧な指導を行うことを通じて、基礎的・基本的な学力の定着に努めることを期待する。

令和2年度 学校関係者評価「評価シート」【生徒指導】

夕張市立夕張中学校

1 アンケートの結果

A…よくあてはまる(4点) B…おおむねあてはまる(3点) C…あまりあてはまらない(2点) D…全くあてはまらない(1点)

No.	評価項目	生徒	保護者	教職員
1	教職員は生徒一人一人の性格や考え方を大切にし、よさを伸ばす指導をしている。	3.3	2.9	3.4
2	教職員は困ったときに親身になって対応している。	3.4	2.9	3.5
3	教職員や生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。	3.4	2.9	3.2

2 アンケート結果の分析考察

「教職員は生徒一人一人の性格や考え方を大切にし、よさを伸ばす指導をしている。」については、生徒・教職員と保護者の間に約0.5ポイントの差がある。「教職員は困ったときに親身になって対応している。」生徒一人一人の学習状況を考えて、丁寧に教えている。」については、教職員と保護者の間に0.6ポイントの差がある。「教職員や生徒がルールやマナーを守り、規律や規範意識を育てる指導をしている。」については、他の項目よりも、3者のポイント差が少なく、教職員がより丁寧に指導していく必要がある。

3 学校の自己評価

- ・生徒と教職員の定期的、日常的な教育相談を通じて、信頼関係を構築することができた。また、生徒のよさ特性を多面的にとらえる生徒理解を深め、教職員内で情報共有することができた。
- ・集団生活の中で正しい行動は認め、間違った行動に関しては毅然とした態度で対応するなど、生徒の心に響く指導を継続していく必要がある。

B

4 学校関係者評価 【A：妥当 B：概ね妥当 C：改善を要する】

(1) 学校の自己評価に対する評価

自己評価結果の妥当性		取組の適切さ	
A		A	
B	○	B	○
C		C	

(2) 評価理由と改善意見等

学校では、定期的、日常的な教育相談を通じて、生徒との信頼関係の構築に取り組んでおり、このことについては、アンケートにおいて生徒及び教職員がほぼ同様の受け止めをしている。一方で、生徒に寄り添った指導という点において課題が見られることから、自己評価の妥当性はB、取組の適切さはBとした。

生徒指導の改善に向けては、善悪の判断が適切にできるよう毅然とした態度で対応するなど、生徒の心に響く指導の継続に努めることを期待する。

令和2年度 学校関係者評価「評価シート」【学校生活全般】

夕張市立夕張中学校

1 アンケートの結果

A…よくあてはまる(4点) B…おおむねあてはまる(3点) C…あまりあてはまらない(2点) D…全くあてはまらない(1点)

No.	評価項目	生徒	保護者	教職員
1	学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されている。	3.3	3.2	3.3
2	学校は生徒が将来、社会に出たときに役に立つ力を付けてくれている。	3.3	2.8	3.3
3	生徒は学校行事や生徒会行事、学級活動、校外学習などに前向きに取り組んでいる。	3.3	3.1	
4	生徒は学校に楽しく通っている。	3.4	2.9	

2 アンケート結果の分析考察

「学校の施設・設備や備品は安全で、よく整備されている。」については、3者が高い平均値でほぼ同じ見解となっている。「学校は生徒が将来、社会に出たときに役に立つ力を付けてくれている。」については、生徒と保護者の間に0.5ポイントの差がある。「お子さんは学校行事や生徒会行事、学級活動、校外学習などに前向きに取り組んでいる。」については、生徒・教職員はほぼ同じ見解で、保護者との間に、0.5ポイントの差がある。「お子さんは学校に楽しく通っている。」については、生徒が高い平均値の見解であるのに対し、保護者との間に0.5ポイントの差がある。

3 学校の自己評価

- ・校内の安全点検や修繕を徹底し、生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる環境をつくることできた。
- ・新型コロナウイルス感染症により多くの行事が中止となったが、生徒が自らの手で創り上げる活動を充実することができた。

B

4 学校関係者評価 【A：妥当 B：概ね妥当 C：改善を要する】

(1) 学校の自己評価に対する評価

自己評価結果の妥当性		取組の適切さ	
A		A	
B	○	B	○
C		C	

(2) 評価理由と改善意見等

学校では、校内安全点検や修繕を徹底し、生徒が落ち着いて学習に取り組むことができる環境づくりに取り組んでおり、このことについては、アンケートにおいて生徒及び教職員がほぼ同様の受け止めをしている。一方で、社会に出たときに役立つ力を育成するという点においては、保護者の否定的な回答も多いことから、自己評価の妥当性はB、取組の適切さはBとした。

今後とも、学校からの更なる情報発信に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の対応で学校行事等が制限される状況においても、できる限り前向きに教育活動を進めていくことを期待する。